

氏名	加藤 雅彦
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 号
学位授与の日付	平成16年3月25日
学位授与の要件	医学研究科社会医学系公衆衛生学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Survey of the Stray Dog Population and the Health Education Program on the Prevention of Dog Bites and Dog-Acquired Infections: A Comparative Study in Nepal and Okayama Prefecture, Japan (徘徊犬個体数調査と犬由来咬傷および感染症予防教育:ネパールと岡山県との比較研究)
論文審査委員	教授 川上 憲人 教授 山田 雅夫 教授 石津 日出雄

#### 学位論文内容の要旨

狂犬病患者が発生しているネパールのカトマンズと岡山県倉敷市下津井において、徘徊犬個体数を推計した。カトマンズでは2,930頭/km<sup>2</sup>、徘徊犬対人口比は1:4.7であり、下津井では225頭/km<sup>2</sup>、1:5.2であった。ネパールではこのように徘徊犬が多いので、犬による咬傷や狂犬病を主とした犬由来感染症を防止する施策の一つとして、徘徊犬の捕獲が検討されるべきである。他に、廃棄物の適正管理による徘徊犬の餌の削減や放し飼いの禁止が考えられる。一方、咬傷および感染症を予防する知識を普及するため、ネパールと岡山県で衛生教育を講習形式で実施し、この終了直後アンケート調査を行った。その結果、講習参加者は重要な予防知識を理解したことが示唆された。咬傷、狂犬病等の予防対策として、犬へのワクチン接種の普及や上述の方法の他、この教育も長期的な施策として推奨したい。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、ネパールと日本（岡山県）とで徘徊犬の個体数および犬による咬傷からの感染症予防教育参加者の知識・態度を比較し、ネパールにおける狂犬病予防の方策について考察したものである。本研究は、狂犬病の予防という国際保健の課題の解決に寄与する価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。